

第5学年 算数科学習指導案

日 時 令和3年12月5日（日）第5校時
場 所 ジャストシステム 東京営業所
授業者 柏慎之介(ジャストシステム)

1 単元名 多角形と円をくわしく調べよう

2 単元の目標

観察や構成を通して、正多角形の性質についての理解をし、タブレットを利用して正多角形を作図することができる。

3 本時の学習

(1) 本時の目標

スマイルブロックを活用して、正多角形の作図を自由に作図できるようになる。

(2) プログラミングを取り入れる効果

正多角形の作図をプログラミングすることで、内角と外角の違いを視覚的に実感し、
正多角形についての理解を深めることができる。

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	◇指導・支援 ◆評価	スマイルブロック利用 stage
導入 3分	1 前時の学習を復習する。 2 アプリを起動する	・正多角形の内角の和を確認する。	
展開 40分	3 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">スマイルブロックを使って、正多角形をかこう。</div> 4 スマイルブロックの基本操作を取得する。 5 正多角形を順番に描く 1) 正方形を描く 手順を考え、描き方を練習する。 2) 正三角形を描く 3) 正五角形を描く 4) 正八角形を描く	・最初は先生と一緒に操作をして、操作方法を覚える。 ・向きを90°ずつ変えて、直線を4回繰り返すと描けることを認識させる。 ・外側の角度、180度から内側の角を引くと求められる。 ・いままでの結果をもとに描いて確認する。 ・円に近づくことを気付かせる。	Stage1 を利用 Stage2~3 を利用 Stage4 を利用 Stage5 を利用 Stage6 を利用
2分	8 本時の学習のまとめをし、感想を伝え合う。	・作図のプログラミングで気を付けなければいけないところはどこだったかを発表する。	

4 評価および指導の手立て

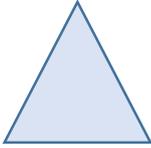
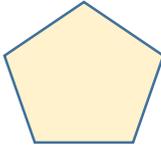
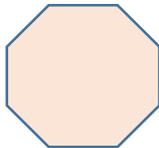
「十分満足できる」と判断出来る状況	正多角形をかくプログラムを考えることで、正多角形の意味や性質に対する理解を深めながら学習できている。
「概ね満足できる」状況にするための手立て	正多角形の意味や性質を振り返りながら、つまづいてる児童には友達の考えを参考にしよう助言する。

正多角形の作図をしよう

___年___組 名前

●課題 1

スマイルブロックを使って正多角形をかいてみよう。

			
正方形	正三角形	正五角形	正八角形

●課題 2

正多角形についてまとめてみよう。

	正方形	正三角形	正五角形	正八角形
頂点の数				
辺の数				
ひとつの角の角度				
すべての角の角度				

●課題 3

正多角形について気付いたこと考えたことをまとめよう。

●プログラムを使った感想